

第41回

四つの男声

合唱の集い

2023年5月13日(土)

13:00 開場 13:45 開演

兵庫県立芸術文化センター

KOBELCO 大ホール

A N C O R の 会

Program

1 六甲男声合唱団

「ポーギーとバス」 PORGY & BESS

作詩/ ディポーズ・ハイワード、アイラ・ガーシュイン

作曲/ ジョージ・ガーシュイン 編曲/ 井上和雄

指揮/ 井上和雄 ピアノ/ 島崎央子

ソプラノソロ/ 飯山友子 パーカッション/ 山縣雅志

- ① サマータイム
- ② 7よ 出ろ
- ③ いつもそうとは限らない
- ④ スッカラカンの空財布
- ⑤ ベス、とうとうお前は俺のものだ
- ⑥ おお、主よ、俺は行くのだ

2 アルマ・マータ・クワイア

男声合唱とピアノのための組曲「夢の意味」から

作詩/ 林 望 作曲/ 上田真樹

指揮/ 太田茂之 ピアノ/ 福島久仁子

- ① 朝あけに
- ② 川沿いの道にて
- ③ 夢の意味
- ④ 夢の名残

3 南漕会合唱団

「松下 耕 作品集」

作曲/ 松下 耕

指揮/ 宮内 泰 ピアノ/ 石幸千照

- ① ほらね、(作詩/ いとうけいし)
- ② Cantate Domino in B \flat - Psalm96
- ③ 今、ここに (作詩/ 伊藤玲子)
- ④ 出発 (作詩/ 山崎佳代子)

Intermission

4 大阪男声合唱団

ラインベルガー「ミサ曲 変口長調 op172」より

作曲/ Josef Gabriel Rheinberger

指揮/ 坂田裕二 オルガン/ 内藤菜穂子

- ① Kyrie
- ② Gloria
- ③ Credo
- ④ Benedictus
- ⑤ Agnus

5 合同演奏

男声合唱組曲「父のいる庭」(1961年初演版)

作詩/ 津村信夫 作曲/ 多田武彦

指揮/ 上床博久

- ① 駅前旅館
- ② 太郎
- ③ 早春
- ④ 紀の国



第40回合同演奏 (2022年5月1日、あましんアルカイックホール)

ごあいさつ

本日はご多用の中、「四つの男声合唱の集い」第41回演奏会にご来場賜わり誠に有難うございます。

去年は、延び延びになっていました第40回記念演奏会を3年ぶりに開催、昭和・平成・令和の長きにわたって培われた私たちの“絆”をテーマに演奏いたしました。

今回の演奏会は、これまでの歴史を引き継ぎ、新たに第一歩を踏み出す演奏会となるよう、老若切磋琢磨しながら各団の練習と合同練習を重ねてきました。

新型コロナウイルス感染症は合唱界に大きな影響を与えましたが、感染症対策と両立する社会経済活動の実現が模索され、影響が大分軽減されてきました。マスク着用も「個人の判断に委ねる」方針のもと限定的になってきました。いよいよ思う存分歌える環境になり、楽しく、精いっぱい演奏をお聞かせできるものと思っております。

最後までお付き合いいただき、お楽しみいただければ幸いです。

アルマ・マータ・クワイア	大澤孝
南漑会合唱団	尾崎納
大阪男声合唱団	本城正博
六甲男声合唱団	永井哲郎

ANCORの会について

大学男声合唱団のOB合唱団が集い、第1回の合同演奏会「四つの男声合唱の夕べ」を開催したのは1981年5月、参加したのは、アルマ・マータ・クワイア(京大、現在はオープン化)、六甲男声合唱団(神大)、コール・アカデミー関西OB会(東大)、南漑会合唱団(大阪市大)の4団体でした。翌年の第2回から大阪男声合唱団(阪大)が加わり5団体となりました。

当時は現役の大学男声合唱団が隆盛を極める一方、OB合唱団は団員数が低迷し、単独での演奏会開催は難しい事情もありました。しかし、その後の各団のたゆまぬ努力もあって、発足から2019年まで毎年欠かすことなく合同演奏会の開催を続けることができました。

第5回演奏会終了後に集まりの名称を検討し、偶々並べた5団体の頭文字がA、N、C、O、Rであることから「ANCORの会」と名づけました。コール・アカデミー関西OB会が団員数の減少により2017年から休会となりましたが、「ANCORの会」の名称はそのままし、現在に至っています。

コロナ禍により2020年、2021年は演奏会の開催を断念せざるを得ませんでした。去年の第40回記念演奏会に続いて、本日第41回「四つの男声合唱の集い」を4年ぶりの芸文大ホールで開催する運びとなりました。

六甲男声合唱団「ポーギーとベス」 PORGY & BESS

ジョージ・ガーシュイン（1898～1937年）の一家はロシア出身のユダヤ人でした。両親は19世紀の末にアメリカにやって来ます。その頃、黒人はもとより移民のユダヤ人は貧しい生活を強いられ、いわれなき偏見に晒されていました。

以上の点はガーシュインの音楽を語るうえで重要な点です。ユダヤ人も黒人も当時の社会では疎外された集団として下町に住んでいました。「ポーギーとベス」の歌詞のいくつかを受け持った兄のアイラは学校での成績もよく、両親から可愛がられて育ったのですが、弟のジョージは両親とりわけ母親から邪険に扱われたため、早くから学校をサボり、不良になって同じ地区にいた黒人や彼らの音楽に入り浸って生活していたのです。

しかしそのような生活はジョージの音楽的養分となっていました。ただ出自がそういう事であり、しかも正当な音楽教育を受けていなかったがゆえに、生涯にわたっていわれなき批判に晒されることになります。オーケストレーションが出来ず、和声学や対位法も知らずに、たんに黒人のジャズ風のメロディを作っているに過ぎないといったものです。つまり黒人やユダヤ人への偏見が増幅されて彼の音楽批判に及んでいたのです。

しかし別の角度からみれば、これらの境遇は才能溢れるガーシュインの糧となりました。彼は必死で勉強し、ラヴェルとも会いドビュッシーの楽譜を手に入れました。その成果は「ポーギーとベス」でも遺憾なく発揮されています。しかもこの物語に見られる黒人の生命力と愛への賛歌は幼い頃からの黒人との生活から生まれたものです。

時は20世紀初頭、アメリカ南部の黒人の町キャットフィッシュでのことです。足の萎えた男ポーギーは、不機嫌で、サイコロを振るしか能の無い男でした。そのポーギーが街の女ベスと出会い、二人は真実の愛に目覚めるのです。でも女は去って行く。その出会いと別れの中に男と女の喜びと悲しみが謳い上げられていきます。

子供を得た女が、その喜びを歌う「サマータイム」で物語は始まりますが、その横では男たちが、なけなしの金でサイコロを振っています。そのサイコロ博奕でかつてのベスの男だったクラウンは勝負相手の男を殺してしまいます。人々は警察沙汰に巻き込まれるのを恐れて家に逃げ帰るのですが、娼婦だったベスを匿ってくれる人は誰もいません。その彼女を匿ってくれた男、それがポーギーでした。それまで見向きもしなかったポーギーからの愛によってベスは真の愛を知るのです。でも、

ベスにヤクを売りつけていた売人のスポーティングライフの甘言に乗せられてニューヨークへ去っていく。しかし、ポーギーは「彼女のいるニューヨークへ行くのだ」と周りの反対を押し切って未来へと旅立っていくのです。

(井上和雄)

編曲・指揮 井上和雄 (いのうえかずお)

六甲男声合唱団音楽監督兼指揮者、女声合唱団クールフレール指揮者。神戸大学経済学部卒、在学中グリークラブ指揮者。

著書に「モーツァルト 心の軌跡」「ベートーベン 闘いの軌跡」「ハイドン ロマンの軌跡」「シューベルトとシューマン—青春の軌跡」「ロンドン音楽紀行」「さらばヘーゲル」など多数、また画家としても大阪で毎年個展を開催している。神戸商船大学（現神戸大学海洋政策科学部）名誉教授。



ピアノ 島崎央子 (しまざきひろこ)

神戸女学院大学音楽学部を首席で卒業。同音楽専攻科を首席で修了。山上明美に師事。ハンナ・ギュリック・スエヒロ賞を受賞。第62回東京読売新人演奏会に出演。神戸女学院大学オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団と協演。2010、2014、2022年には、ベートーベンのピアノ四大ソナタを一日で連続演奏し絶賛を博す。2006年から六甲男声合唱団の伴奏ピアニストを務めている。



ソプラノ 飯山友子 (いいやまともこ)

京都市立芸術大学音楽学部声学科卒。第9回兵庫県高等学校独唱コンクール金賞、第45回滝廉太郎記念音楽祭西日本独唱コンクール最優秀賞、第50回全日本学生音楽コンクール大阪大会第一位、文部大臣賞、滝廉太郎賞等を受賞。ベートーベン・第九、フォーレ・レクレイム等のソリストを務めるなどオーケストラとの共演も多い。現在、ムジーク天音楽事務所代表、グリーンアンサンブル指導者。



パーカッション 山縣雅志 (やまがたまさし)

大阪音楽大学卒。幼少期よりピアノとドラムを始める。第6回アジア国際コンクールマリンバにて「優秀賞」受賞。大阪交響楽団、フィルムジカ管弦楽団など多数のオーケストラ公演にて客演打楽器奏者を務める。2021年には佐渡裕（指揮者）、エリック・ミヤシロ（トランペット）と共演するなど、ドラマー・打楽器奏者として、コンサート・liveなどジャンルを問わず幅広く活躍中。



アルマ・マータ・クワイア 男声合唱とピアノのための組曲「夢の意味」から

アルマ・マータ・クワイアでは「今を生きる作曲家の、やがてクラシックになりうる曲をとりあげよう」というコンセプトで一つの曲集を選び、毎年挑戦しております。音楽がポップス(流行歌)からクラシック(普遍的)になるためには世代を超える必要があります。曲の中にある普遍的なテーマ、それが世代を超えて共有できること、そしてそれが音楽を通して感じられること、これが必要なのだと思います。慣れ親しんだ曲を歌うことも楽しいですが、それに加えて時代を超えていく挑戦もしてみたいと思い日々取り組んでおります。

今回の曲集は昨今精力的に合唱曲を作曲されている上田真樹さんの「夢の意味」を取り上げました。

「夢のような現(うつつ)のような」

このフレーズが曲集全体に流れるテーマです。通常は、すでにある詩に対して作曲することが多いのですが、上田真樹さんはこのコンセプトを作詞者である林望氏に投げかけて、詩と曲が作られるという面白いアプローチがされた曲のようです。歌は曲が先か、歌詞が先か、このような問いに対しても「夢現」が提示されているように思います。

この曲集は近年、多くの大学生に取り上げられているようですが、アルマ・マータ・クワイアでやってみたいと思ったのは、この曲に流れるコンセプトが共有できると思ったからです。

起きているのか、夢の中にいるのか、そんな不思議な感覚から始まる「朝あけに」。懐かしさを感じるのは現実ではなく、過去の夢のことなのでしょう。そして、なつかしさを感じつつも、軽快に進んでいく「川沿いの道にて」。この世界の素晴らしい自然の存在を感じます。

「生きていることの意味を本当は誰も知らない」という歌詞で始まるこの曲集のタイトルと同じ「夢の意味」は、若い大学生だけが抱く問いでしょうか。もしかしたら誰もが結局は「知らない」？こういう普遍的な問いが世代を超えていく気がします。

そしてその夢の意味をかみしめるような終曲である

「夢の名残」。夢の中から現実になって、生きる気持ち、生命のエネルギーを壮大に表現します。

心地よく聴きやすいメロディーが聞こえてきますが、こういう曲ほど合唱団メンバーにとっては難しい箇所が多い曲です。きれいにハモル夢と必死に練習している現実との間を行き交いつつ……。そこから立ち上がる歌に「夢現=無限」の可能性を感じていただけたらと思います。

(太田茂之)



アルマホームページ

指揮 太田茂之 (おおたしげゆき)

京都大学農学部卒業後、奈良先端科学技術大学院大学にて博士後期課程修了。現在企業での研究員として働く。

2016年に男声合唱団アルマ・マータ・クワイアに入団、2018年より指揮者。指揮法、アンサンブル法を斉田好男氏に師事。現職の傍ら、生涯現役のコーラス、指揮法、発声法を研究しながら、邦人合唱曲、Barbershop、教会讃美歌などで指揮。現在、アルマの他に「The Lockers」、京大合唱団同窓会合唱団男声、日本基督教団洛北聖歌隊指揮者。



ピアノ 福島久仁子 (ふくしまくにこ)

大阪音楽大学卒業、インディアナ州立ボール大学大学院修了。歌曲伴奏をウィーン国立音楽大学教授 チャールズ・スペンサー氏から、合唱伴奏を田中信昭氏から、それぞれ徹底訓練を受けた。

オペラ、ミュージカルのリハーサルピアニストとしてまた合唱団ピアニストとして、数多くの歌手 指揮者より信頼を得て活動中。

最近では歌曲演奏会を中心に、シューベルト協会リート学校の伴奏、関西演劇人と『朗読とピアノ』の共演、サロンコンサートの企画、後進の指導にも力を入れている。



南漣会合唱団「松下耕作品集」

松下耕（1960～）作品を取り上げようと思ったきっかけは、Youtubeで「お江戸コラリアーズ」の男声合唱を聞いて、馴染みやすいきれいなメロディに魅せられたこと。東日本大震災の被災者を思い、悲しさ、苦しさを心に抱いた人々を励ます意味でも、深い愛の精神を持ちながら作曲を続けていると思う。平和を願い素晴らしい世界を構築していくことを、私たちも目指したい。

1. ほらね、

川は風と語り合っているよ、鳥は花と触れ合っているよ～と始まるこの曲。明るく歌っていく。震災で悲しみや苦しめで心が押しつぶされそうな人たちへ。コロナ禍で自由に、活動できなくなった私たち。戦争で、明日をも不安におびえる人たち。平和で楽しく過ごしていきたい。そんな思いで歌いたい。

2. Cantate Domino in B♭ -Psalm96

歌詞は、旧約聖書の詩篇 96。ラテン語で歌われる。2010年の作曲。初演後数か月で東日本大震災が起こり、アメリカでSing for Japanという義援金プロジェクトが始まった。松下耕は、プロジェクトにこの曲を提供。震災の復興を願う曲として、世界中の合唱団が取り上げてくれることに感謝し、また国や人種を越えて助け合い、平和を願うと述べている。

3. 今、ここに

人生で最も素晴らしいものの一つが、家族はもちろん、友の存在である。作詞は、作曲者の友人である四国の女声合唱団「歌姫」の伊藤玲子。合唱はお互いの信頼がないと成り立たない。神様は何と素晴らしい世界を与えてくださったのだろうと感謝しつつ、この歌を歌ってくれる皆様にお礼を申し上げますと、彼は述べている。

4. 出発

もともと女声合唱のための「薔薇、見知らぬ国」の最終曲として作曲された。彼は作曲中、コロナの感染拡大が続いて、見当がつかない不安な日々を過ごしているが、そんな時こそ「その後の新しい価値観、ものの見方、考え方」が必要だと考えた。まさに、「向こう岸の音を聞け」だ。

辛抱が続く時期が、私たちの「罪と罰」を思う時間となり、新しい時代、新しい生き方への「出発」への序章となるか、私たちの知恵にゆだねられていると彼は言う。

（宮内 泰）

指揮 宮内 泰(みやうちやすし)

1976(昭和51)年大阪市立大学理学部卒。グリークラブに所属(セカンドテナー)。指揮者も勤めた。



卒業後は、中学校の教師、吹奏楽顧問として指導。音楽は、特に、ベートーベン、モーツァルトが好き。合唱では、世界の民謡、黒人霊歌、バーバーショップ、日本歌曲、多田武彦、清水脩、木下牧子、佐藤真、森脇憲三などを演奏してきた。アカペラを特に好む。中島みゆき、尾崎豊やラテン音楽、Jazzにも興味がある。

2014年より、南漣会合唱団の指揮活動に入り現在、技術委員長。団内有志とともに、高齢者施設慰問活動等も行ってきた。3年後の公立大グリー100周年には、現役・OBで有意義で楽しい催しを行いたいと思っている。

ピアノ 石幸千照(いしこうちあき)

大阪芸術大学を学費全額免除生として卒業。同大学芸術専攻科修了。卒業時、演奏学科研究室賞受賞。



卒業演奏会、関西新人演奏会に出演。第1回大阪国際音楽コンクール入選。

1999年秋期特別コースにて、A.イエンナー氏に、2001年マタイザー・ゾンマー・アカデミーにてG.ルードヴィッヒ氏に師事。これまでに、故岡坂恭子、U.シュニーベルガー、平井令奈の各氏に師事。

2004年ジョイントリサイタル開催。2005年、関西フィルハーモニーオーケストラと協演。2006年、ロシアにて国立アカデミーオーケストラと協演。大阪芸術大学伴奏要員を経て、現在関西女子短期大学非常勤講師、NHKコールマドリガル、エトワールかしわら、女声合唱団ソルシェール、南漣会合唱団のピアニストを務める。全日本ピアノ指導者協会会員。

大阪男声合唱団 ラインベルガー「ミサ曲 変ロ長調 op172」より

「ミサ曲」について

「ミサ」はカトリック教会における典礼で、イエスによる「最後の晩餐」に由来します。そこでは、イエスを通して実現した救いの恵みに感謝し、神への信仰が確かめられます。

ミサで唱えられる祈りには、常に用いられる「通常文」と、ミサの目的により異なる「固有文」があります。通常文である Kyrie, Gloria, Credo, Sanctus・Benedictus, Agnus Dei に一人の作曲家が曲を付ける「通作ミサ曲」は14世紀のギヨーム・ド・マショーに始まり、西洋音楽史における最も重要なジャンルの一つとなっています。

作曲者について

ヨーゼフ・ガブリエル・ラインベルガー(1839-1901)はリヒテンシュタイン(オーストリアとスイスの間に位置する小国)の首都ファドゥーツに生まれました。いわゆる「神童」で、7歳で同地の聖フローリン教会のオルガニストとなり、作曲を手がけます。12歳でミュンヘンの音楽院に入学、1859年にその教職に就いて以後、バイエルン国内で要職を歴任、1877年にはルートヴィッヒ2世より宮廷楽長に任じられ、ドイツのカトリック音楽界で中心的地位を占めました。教師として多くの優秀な音楽家(リヒャルト・シュトラウスやフルトヴェングラーも彼の下で学びました)を世に出しつつ、オルガン曲、宗教声楽曲を中心に歌曲、室内楽から交響曲、オペラに至るまで幅広く作品を遺しています。オペラにはワーグナーの影響も顕著ですが、作品の多くは、同世代で親交もあったブラームスから、メンデルスゾーン、シューベルト、ベートーベン(さらに遡ればバッハ)の流れを汲むものと考えられます。

演奏曲について

ラインベルガーによるミサ曲は、作品番号の付いたもので14に上り、うち男声合唱は2曲あります。本日演奏する変ロ長調 op.172は1892年の作。50代を迎えた作曲家は、明晰な構成を多様な和声で彩りつつ、表情豊かな単旋律から対位法を駆使した緻密なフーガまで、円

熟の技を余す所なく披露した感があります。

初演が「マリアの清めの祝日」に行われたことから、GloriaとCredoの間に無伴奏のAve Mariaが挿入されていますが、本日は時間の関係から、Sanctusと共に割愛させていただきます。

なお、最晩年の1898年に作曲されたへ長調 op.190も色彩豊かな名曲で、大阪男声合唱団では過去2回(第14回、第21回)の定期演奏会で取り上げました。

(坂田裕二)

指揮 坂田裕二 (さかたゆうじ)

大阪大学男声合唱団で故 櫻井吉明氏の指導を受け、学生指揮者を務める。1983年、同氏創設の混声合唱団コードリベット・コール入団。現音楽監督の延原武春氏をはじめ歴代の指揮者・ボイストレーナーの下で研鑽を積む。シュッツ、バッハ、ヘンデルからメンデルスゾーン、ブラームスに至る宗教合唱曲を中心に練習を担い、また、教会等の演奏会で指揮を行う。2011年、大阪男声合唱団入団。

現在、コードリベット・コール団内指揮者、大阪男声合唱団指揮者。

[スケッチは団員の岡田伸太郎氏筆]



ピアノ 内藤菜穂子 (ないとうなほこ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科修了。

鈴木豊子記念賞受賞。兵庫県立美術館、兵庫県民会館、カワイ梅田ジュエにてソロリサイタル開催。神戸女学院大学オータムコンサート、同大学新人演奏会、第85回読売新人演奏会、修士課程修了披露演奏会等多数出演。これまでに山本未央、小西豊子、松村英臣、成瀬修、坂井千春、山上明美の各氏に師事。

現在、神戸女学院大学伴奏要員、エリーゼ音楽アカデミー講師、神戸ピアノステーションピアノ講師を務めるかたわら、ソロ、室内楽、伴奏など幅広く活動している。



合同演奏 男声合唱組曲「父のいる庭」(1961年初演版)

「父のいる庭」初演版の演奏にあたって

神戸生まれの詩人津村信夫は、昭和17年11月33歳で第二詩集「父のいる庭」を発表しました。

生来明るい性格ながら病気を患い、苦悩する青春時代の一時期を経て、愛する女性と結婚し、その幸せのさなかの昭和14年12月に父を失い、授かった子供を連れて亡き父の故郷を墓参に訪れるまでの自分の人生を、父に対する深い敬慕の念をもって詩にしましたが、詩集発表2年後に不治の病に倒れ、35歳の短い生涯を閉じました。

詩集「父のいる庭」出版の約20年後、作曲家多田武彦は、その当時の自分の年齢と同年代の詩人の詩に出会って深く共感し、「父のいる庭」の中から4篇の詩に作曲したことを初演時のプログラムで述べています。昭和36年(1961)12月、京都大学男声合唱団により村井真一の指揮で初演されました。

私が京大合唱団に入団した昭和38年4月には、1年4か月前に委嘱曲を名演奏した後の熱気と、一種の虚脱感が同居していた気がします。当時その演奏の録音を聴くために、朝日ソノラマのかすれた音に必死で耳を傾けたものでした。

第1曲「駅前旅館」は、「みすぼらしい小さな枕の上に、私の若さは眠っていた」と、「青春の挫折」といった、当時の私にとって身近なテーマを歌った曲に心を引きつけられました。私自身今後大人になることへの不安を抱きつつ、明るい希望も感じていました。多田さんの音楽は詩の内容に絶妙にマッチしてとても印象深く、この曲はいつか歌いたい曲だと思いました。しかし昭和44年、作曲者により第1曲は詩集の最後の詩「父が庭にゐる歌」に差し替えられました。その後この「駅前旅館」が歌われることはなくなり、この曲は合唱界から忘れ去られてしまう、それは実に惜しいことと思われました。その思いから平成23年(2011)アルマ・マータ・クワイア第50回定期演奏会において、この曲を「第50回定期演奏会記念『多田武彦男声合唱曲集』」の中の1曲として演奏しました。

第2曲「太郎」は、「妻のおなかの中に太郎と呼ぶ子供がいる」と希望に満ちて軽やかに歌いだされます。中

間部で「俺は太りすぎて人に笑われたが、裸の子供はいくら太っていても 誰かが可愛がってくれるだろう」と自らの生命と子供の将来への不安がよぎりますが、最後は「夢を一杯満たした 産湯をつかわしてやろう」と明るく歌われます。

第3曲「早春」は、男の子ではなかった「私の膝に女の赤児」を抱いて、亡き父を思ってしみじみ歌われる優美な曲ですが、「私の性(さが)の拙さが、今日もしきりと思われる」と内省的な思いが強い口調で歌われます。

終曲「紀の国」は、父の故郷「和歌山」を墓参で訪れた際の様々な情景がうたわれており、比較的歌いやすく且つ情感豊かな名曲なので、日本の男声合唱団で今でも好んで歌われる曲です。

*

この度『アンコールの会』合同演奏の指揮をさせていただくことになり、「駅前旅館」を第一曲とした「父のいる庭」初演版を「アンコールの会」の皆様とともにぜひ歌いたいと思いました。初演から実に62年を経た再演となります。この曲が入ることによってどのような「父のいる庭」が生まれるか、心が躍ります。限られた練習ですができるだけ頑張って多くの皆さんと歌い合い、練習から本番に向かって感動をともにして歌っていきたいと思います。そしてその感動が聴衆の皆様方に伝わることを強く願っています。

(上床博久)

指揮 上床博久 (うわとこひろひさ)

京都大学医学部卒業。在学中に京都大学男声合唱団・京都大学混声合唱団の指揮者を務める。

1996年に男声合唱団アルマ・マータ・クワイアに入団、1998年より指揮者。以降多田武彦氏の作品に積極的に取り組み、特に2010年からは毎年多田組曲を取り上げている。2008年には委嘱男声合唱組曲「春のいそぎ」、2012年「眠りの誘ひ」を初演した。

指揮法を佐々木宏氏、四野見和敏氏に、声楽を田中千都子氏に師事。



1954年に神戸大学グリークラブのOBを中心に創設されました。その後神戸大学以外の大学OBや一般の合唱好きも入団して、オーソドックスな男声合唱団に成長してきました。2022年12月には創立68周年の定期演奏会を神戸新聞松方ホールで開催しました。

これまで、フランス・ドイツ・台湾での演奏旅行を成功させてきました。国内においては隔年開催の定期演奏会、毎年開催の本日の4つの男声合唱団の集い(アンコールの会)、隔年開催の旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会等多彩な活動を続けております。



音楽監督兼指揮者と、持ち味の異なる2名の団内指揮者に率いられ、欧米の古典曲や邦人の作品、さらには世界の民謡、魅惑の映画音楽など、幅広いレパートリーを持っております。来年2024年は創設70周年となり、記念定期演奏会を開催予定です。

【本年度の演奏会】5月3日(水)、10月28日(土)島崎央子ピアノリサイタルに賛助出演(2回とも西宮アミティホール)、11月18日(土)女声合唱団クールフレール定期演奏会に賛助出演(神戸聖愛教会)、2024年3月2日(土)旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会(パルテノン多摩)。

【練習日】毎週火曜日、大阪産創館15階(大阪堺筋本町)、18時から20時半まで。5月16日(火)以降、練習会場は阪急夙川駅前の夙川公民館になる予定(同じ時間帯)。

【連絡先】永井哲郎:090-2492-5915

tetsunaga9845@yahoo.co.jp

<出演メンバー> 27人

T1	板敷 勝	小林 和生	後久 義昭	西本 憲生
	平林 陽			
T2	大隅 国雄	加藤 雅夫	桐ヶ窪 卓	白川 秀司
	寺井 洋一			
B1	大谷 遷	大塚 宏一	加輪上敏彦	佐々木道治
	藤澤 隆博	前田 豊治	松井 嘉和	村田 一朗
B2	市村 重勝	井上 和雄	奥村 隆	柏木 将男
	佐藤 敏弘	坪内 啓二	徳重 光彦	永井 哲郎
	三木 邦夫			

アルマ・マータ・クワイア

アルマ・マータ・クワイア?! なんだか舌を噛みそうな名前だなあ〜。そうですね、皆さま、どうぞ“アルマ”とお呼びください。

先の太平洋戦争の末期、敗色の濃い南洋の島で南十字星を仰ぎながら、「生きて祖国に帰れたら男声合唱団を作ろう」と思い定めていた一青年がありました。その青年 故吉田忠男は幸い帰還を果たし、昭和22(1947)年7月に開かれた京都大学合唱団定期発表会のOBステージにかつての男声仲間とともに出演しました。その帰途の反省会で吉田青年から話された新男声合唱団結成の提案をメンバー全員が賛同し、その翌週7月18日に大阪市中央公会堂の一室に集合して練習を開始、同時に団名をアルマ・マータ・クワイア(Alma Mater Choir)と決めました。Alma Materは<母校>を意味するラテン語ですが、このメンバーが中学、高校、大学のどこかで学び舎を共にした仲間であることに由来しています。この先輩たちは、①アルマは特定の大学の出身者だけではなく、歌の好きな男声を広く迎えてともに歌うとともに、②単に合唱するだけではなくお互いに啓発し合い、家族を含めた終生の友情関係を結ぶ、という方針を確認し合いました。この考えは現在に至るも生き続けています。

その後幾星霜、わが国の経済高度成長期には団員数の激減により団の存続が危殆に瀕したこともありましたが、その時々先輩方の熱意と努力によりこれを切り抜けるなど、2017年には創立70周年を盛大に迎えることができました。そのあとに起こったコロナ禍は合唱界にある私たちにとっても大きな打撃となりましたが、団員の献身によりインターネット通信網と各種アプリを駆使するなどによって練習を継続、団員全員が力を合わせて苦境を乗り越え、本日、ここに皆さまとともに過ごすことができることを心から幸せに思っております。

<出演メンバー> 35人

T1	岩本 論	上床 博久	大澤 孝	坂井 俊朗
	南茂 泰三	林 茂紀	町田 信雄	松浦 功
	松尾 博文	的場 輝佳	山田 裕史	吉國 義明
T2	芦田 寛	海上 正彦	太田 茂之	奥 泰夫
	谷野 敏雄	中塚 等	前田 康夫	吉里 文雄
B1	上野 晴夫	大西 昌三	香川 睦	北島 政憲
	木本 実美	小寺 祥雄	杉本 修	畑山 勝明
B2	石橋 克己	川口 義行	富田 勇一	西村 勝
	増田 博	森崎 実	山下 千之	

南澤会合唱団

<https://www.male-choir-nanreikai.com/>

〈歴史〉南澤会合唱団は1940(昭和15)年に旧大阪商科大学(大阪市立大学を経て大阪公立大学)グリークラブとそのOBにより設立された合唱団ですが、現在はOBに限らず、男声合唱を愛する方であれば老若どなたでも参加できる市民団体として活動しています。

〈レパートリー〉日本歌曲、宗教曲、黒人霊歌、ポップス等ジャンルを問わず挑戦していますが、団員の高齢化(最近の統計では平均72.8歳)にともない、外国語の曲(舌を噛む、覚えられない)やリズム的な曲(ずれる、遅れる、やはり舌を噛む)は、やや苦手。とはいえ、常に新しいものに果敢にチャレンジしています。

〈練習〉月3~4回土曜16時から19時に東大阪市文化創造館(近鉄八戸ノ里駅北すぐ)にて練習をしています。月に一度、バリトン歌手木村孝夫さんによるボイストレーニングを、またピアノ伴奏は石幸千照さんをお願いしています。

〈演奏会〉定期演奏会と旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会をそれぞれ隔年で、また四つの男声合唱団の集い(ANCORの会)を毎年開催し、毎年2回の演奏会をこなしています。

〈これから〉2026年には当合唱団の母体である大阪市立大学(現大阪公立大学)グリークラブが誕生100周年を迎えます。この機に現役グリーンメンと全国のOBが一堂に会し、気持ちを一つに大合唱ができればと願っています。

〈ちなみに〉第5ステージ合同演奏には、大阪公立大学グリークラブ(コロナ禍等の影響もあり、一昨年度部員数がゼロとなる危機もありましたが、これを乗り越え見事に再生してくれました)の現役部員10余名が参加する予定です。若々しくピチピチの歌声もお楽しみください。

〈出演メンバー〉48人

T1	岡橋 博	神代 一徳	寶木 健一	長田幸一郎
	福家 伸治	松波 謙至	森本 眞一	永井 真菜
	大谷内萌里			
T2	今村 肇	尾崎 納	白井 清貴	菅原 基晴
	富増 和彦	野津 直樹	長谷部資朗	宮内 泰
	吉田 教昭	吉田耕太郎	川口 剛史	松田悠太郎
	宮長 夏希	安田 葵		
B1	石原 潤一	太田 一忠	瀧井 尚志	辻 秀郎
	出口 順三	花澤 光正	松井 繁明	安井 永
	横田 卓郎	日吉 健人	白石 真也	荒木 陸
B2	赤崎 弘平	今道 隆夫	扇田 豊	小倉 裕
	曾家 義晴	田中 彰一	仲嶋 研一	牟田 岑男
	松村 喜裕	和田 昭夫	小川 翔也	伊藤 誠悟
	大木 賢祥			

大阪男声合唱団

<https://wp.handaidanseiob.com/>

大阪男声合唱団は、大阪大学男声合唱団(阪大男声)OBの合唱団として1954年に発足し、1959年までは毎年の阪大男声の定期演奏会に賛助出演したほか、関西の合唱祭はじめ多方面で活発に活動を行いました。

その後20年余りは休眠状態になりましたが、1980年から活動を再開し、1982年5月には「五つのOB男声合唱の夕べ」に出演し、ANCORの会として続いています。

1990年代の終わり頃から、阪大男声草創期のOBが職場の現役を引退する時期を迎え、それら諸先輩によってOB会と大阪男声の体制が再整備されました。そして2001年7月、「第1回大阪男声合唱団定期演奏会」を大阪で開催し、その後も毎年、定期演奏会の開催を続けることができ、第7回は大阪・東京の2回公演、第8~11回は愛知県瀬戸市を加えた3回公演を果たしてきました。2012年の第12回からは大阪と東京の交互開催に改めました。

2017年には団則を改正し、大阪男声合唱団は活動の拠点を大阪府と東京都に置き、それぞれ大阪本部、東京支部として普段の練習と独自の演奏会活動を行うとともに、毎年の定期演奏会は大阪と東京が一致協力して開催するという位置づけを明確にしました。

第20回記念定期演奏会はコロナ禍で1年延期となりましたが2021年8月、住友生命いずみホールで、第21回は2022年7月に東京の第一生命ホールで開催しました。

今年はずまず1月22日に、現役の大阪大学男声合唱団が第70回記念定期演奏会を開催し、大阪男声合唱団団員を含むOB108名が賛助出演しました。

第22回定期演奏会は、7月17日(祝)、住友生命いずみホールで開催し、ここでも現役との合同ステージを予定しています。

〈出演メンバー〉31人

T1	多田 晴彦	岡田伸太郎	辻 輝夫	栗山 和郎
	上田 勝己	木下 義和	平木 秀男	鷺見 晋吾
T2	子安 一男	名迫 行康	田村 坦之	詠田 英夫
	豊原 力	宇都宮道夫	久米 勝彦	本間 真人
	高橋 宏明			
B1	田口 孝人	橋本 達弥	今井 孝至	松永 滋
	山田 雅朗	坂田 裕二	内田 裕樹	
B2	中野 洋介	前川 洽治	松宮 啓	桂 正
	佐々木泰介	本城 正博	片川 徳明	

ANCOR